

### 第3学年\*組 技術・家庭科学習指導案

指導者 金子 春美

学びの視点	話し合いの「視点」の提示を工夫することで、話し合う目的を明確にし、話し合いを活性化させる。また、多様な考え方方に気付き、自らの消費生活を振り返り考えを深めさせる。
-------	---

#### 1 題材名 商品の選択と購入について考えよう

#### 2 目標

- 自分や家族の消費生活について関心をもち、消費の在り方について考えようとしている。  
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- 収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。  
(生活を工夫し創造する能力)
- 物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。  
(生活の技能)
- 物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身につけることができる。  
(生活や技術についての知識・理解)

#### 3 指導にあたって

中学校学習指導要領解説技術・家庭編の内容「D身近な消費生活と環境」の項目（1）イ「販売方法を知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること」では、中学生の身近な消費行動を振り返ることを通して、家庭生活における消費の重要性に気付き、消費者としての権利と責任について理解を深めるとともに、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用について理解できるようにすることをねらいとしている。私たちの身の回りには商品があふれ、世界中の様々な情報を瞬時に入手できる状況にある。消費者を取り巻く環境は、インターネットの普及とともに大きく変化し、商品の購入や支払い方法も多様化して複雑になってきている。収入を得ていない中学生の消費行動は、家庭の中での限られた行為であるため、大人と比較すると経験が少ない。この生活経験の乏しい年齢の中学生が、高齢者の次に消費者トラブルの被害者となっている。大人と同じ情報社会の中で生活する中学生にとって、必要な情報を収集し判断する能力を育てることは、自立した消費者を育成することにつながる。

生徒の実態をみると、本学級の生徒は、素直で明るい生徒が多い。家庭科は嫌いではないが、人前で発表したりロールプレイング等で自分を表現することが苦手である。グループで問題解決的な学習をしたまとめの作業では、リーダーを中心に話し合い新聞やレポートに仕上げることができる。

＜実態調査＞3年\*組 \*人 平成\*年\*月\*日実施

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 1 お小遣いを定期的にもらっていますか。                | はい *人 いいえ *人   |
| 2 お小遣いはどのように使っていますか。(複数回答)          | 本 *人 文房具 *人 食料品 *人 映画 *人 ゲームソフト *人<br>CD・ビデオ(レンタル含む) *人 洋服衣料品 *人 その他 *人    |
| 3 普段は、どこで買い物しますか。(複数回答)             | コンビニエンスストア *人 自動販売機 *人 デパート *人<br>スーパー *人 小売店 *人 インターネット *人 通信販売 *人        |
| 4 買い物をするときに注意していることはどんなことですか。(複数回答) | 値段 *人 使いやすさ *人 品質 *人 機能 *人 環境への影響 *人<br>流行 *人 アフターサービス *人                  |
| 5 買い物で失敗したことはありますか。                 | はい *人 いいえ *人   |
| 6 どんな失敗ですか(複数回答)                    | 買ってみたがあまり使わない *人 思っていた物と違う *人 すぐ壊れた *人<br>同じような物が家にあった *人 サイズが違う *人 その他 *人 |

そこで、本題材では、消費者としての生活に必要な商品を選択し、購入活用するための観点を考えランキングすることを通して、消費者意識を高めたい。また、筋道を立てて自分の考えを伝えること、自分の意思決定と友達の考える観点とを意見交換することで消費の在り方について考えを深めたい。

#### 4 学習計画 (6時間取扱い 本時は第5時)

- |     |                                  |       |
|-----|----------------------------------|-------|
| 第1次 | これまでの消費行動を振り返り消費生活と環境についての意義を考える | (1時間) |
| 第2次 | 物資やサービスの例を示し、販売方法や支払い方法の多様化を知る   | (1時間) |
| 第3次 | 消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨を理解する     | (1時間) |
| 第4次 | 消費者トラブルを解決する方法を調べ、主体的な対処法を工夫する   | (1時間) |

第5次	よりよい消費生活を目指して	開	創	技	知
第1時	消費者として生活に必要な物資やサービスを選択、購入、活用することについて話し合う活動を通して、自分の消費生活を振り返りこれからの自分や家族の生活の仕方や消費の在り方について考える。		○		
第2時	自分の生活を振り返り、環境に配慮した消費生活について考える。		○		

## 5 本時の学習

### (1) 目標

消費者として生活に必要な物資やサービスを選択、購入、活用することについて話し合う活動を通して、自分の消費生活を振り返り、自分や家族の生活の仕方や消費の在り方について考えることができる。  
(生活を工夫し創造する能力)

### (2) 「互いに学び合う学習集団作りを目指す」ための授業の視点との関連

「互いに学び合う学習集団作りを目指す」ための授業の視点(2) -①と関連し、話し合いの「視点」の提示を工夫することで、話し合う目的を明確にし、話し合いを活性化させる。また、多様な考え方方に気付き、自らの消費生活を振り返り考えを深めさせる。

### (3) 準備・資料

ワークシート、発表用ボード、司会者カード

### (4) 展開

学習活動・内容	形態(時間)	◎「互いに学び合う学習集団作りを目指す」ための授業の視点から 生徒への支援(評は評価)
1 本時の課題をとらえる。	コの字 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に作成した消費者として商品を選択、購入、活用する時の視点について話し合うことを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           消費者として商品を選択、購入、活用する時に大切なことは何だろう。            ダイヤモンドランキングを決めることで考えよう。         </div>
2 各グループで意見を交換して話し合う。  (1) 司会者を決める。 (2) ランキングをグループで話し合う。 ①重要なカードを上に、最も重要なカードを下に、その他は2つの間にダイヤモンドの形に並べる。 (予想される事柄) ・品質 ・値段 ・流行 ・アフターサービス ・機能 ・使いやすさ ・環境 ・安全 ・好み  ②個人の意見をもとに、グループのランキングを決める。  (ダイヤモンドランキング)   (3) 話し合いの結果をボードにまとめる。	グループ (25分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に考えた個人のランキングとその理由をもとに話し合うようにさせる。</li> <li>司会者を決め、司会者カードを使って、生徒が進行できるようにする。</li> <li>自分が作ったランキングをもとに意見を出し合うようにさせる。</li> <li>同順位のカードを優先にダイヤモンドの形に並べるように支援する。</li> </ul> <p>◎自分のランキングとその理由を説明しながら、発表できるように、司会者カードを活用する。</p> <p>・友達の発表を否定せずによく聞いて、自分の意見を話せるように助言する。</p> <p>◎ランキングすることで、自分の意見と友達の意見との違いに気付き、多様な考え方につれて触れるようにする。反対意見が出たときは、その理由から話し合いが進むようにする。</p> <p>・グループのランキングは、多数決にするのではなく、話し合いをして決めるように助言する。</p>
3 各グループのランキングを発表する。	グループ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの発表者を中心にグループの意見をまとめるようにする。</li> <li>他のグループの発表を聞いて、多様な考え方につれて触れるようにする。</li> <li>ランキングしたことを感じたことや考えたことを振り返り、まとめられるようにする。</li> </ul> <p>(評) 自分の消費生活を振り返り、自分や家族の生活の仕方や消費の在り方について考えている。 (観察、自己評価カード)</p>
4 本時の活動を振り返り、まとめを書く。	グループ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の内容を知らせ、意欲を高める。</li> </ul>
5 次時の学習課題をとらえる。		